

**令和５年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（畜産）】**

専門論文試験課題

<課題>

本県の農業産出額（令和３年）は、３，４７８億円と全国第４位であり、中でも畜産部門は全体の約６６％を占めるなど、本県農業の重要な基幹産業として成長してきました。

一方、畜産を取り巻く環境は、担い手の減少や高齢化の進展、激甚化する自然災害、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の家畜伝染病の発生、更には国際競争力の激化やウクライナ情勢に伴う飼料価格の高騰など、様々な課題やリスクに直面しています。

このような中、県では本県農業の将来像を示す「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画」を策定し、その畜産版アクションプランとして「みやざき畜産共創プラン」を策定したところです。

そこで、持続可能な魅力ある宮崎の畜産を実現するためには、どのような課題があり、具体的にどのように解決すべきか、①生産基盤の強化、②担い手の確保、③飼料自給率の向上の三つの視点を盛り込みながら、あなたの考えを述べなさい。